1 調査方針

1.1 調査目的

本調査は、神戸港における載荷試験の実施に伴う船舶航行の安全を確保するために周辺航行船舶に対する航行安全対策について検討することを目的とした。

1.2 調査名

「神戸港整備事業に伴う船舶航行安全対策検討調査」とした。

1.3 調査方法

1.3.1 委員会の設置

学識経験者、海事関係者及び関係官公庁職員等からなる「神戸港整備事業に伴う船舶航行安全対策検討調査委員会（載荷試験編）」を設置し、検討資料に基づき検討した。

検討資料は、委託者である近畿地方整備局 神戸港湾事務所から提供を受けた資料を基に、受託者である公益社団法人神戸海難防止研究会（以下、「海防研」という。）が専門的立場から検討し、必要に応じ海防研常任調査研究委員等の参画を得て作成した。

1.4 調査条件

- ① 調査期間は、令和5年4月19日から業務終了まで。
- ② 委員会の開催は、原則として1回とした。

1.5 調査項目

- ① 神戸港における載荷試験に伴う航行安全性の検討
- ② 神戸港における載荷試験に伴う航行安全対策の策定

1.6 委員会の開催状況

- 1 開催日時 令和5年7月24日（金）14：00～17：10
- 2 開催場所 神戸地方合同庁舎 1階 第4共用会議室
Web会議（Microsoft Teams を利用）を併用
- 3 議題
 - （1）載荷試験に係る調査方針等について
 - （2）載荷試験の施工計画の概要について
 - （3）神戸港の航行環境について
 - （4）載荷試験に係る船舶航行安全性の検討について
 - （5）載荷試験に係る船舶航行安全対策について
 - （6）報告書（載荷試験編）の構成について
- 4 検討状況

海防研作成の資料に基づき質疑応答を行い、載荷試験に係る船舶航行安全対策を取りまとめた。